

1 カ月もの長い“中休み”を終えて、ようやく梅雨らしいのか、台風の影響なのか大雨になりました。ジメジメしたり、急に暑くなったり、体調管理と安全にお気をつけください。現在会員登録数 1,151 人さま。ご愛読ありがとうございます。次号は 7 月 23 日発行の予定です／

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

【1】お知らせ

【2】コラム

《1》 YO! この本読んだ? Yasuko's & Okiko's Talk

《2》 読書活動ボランティアのためのワンポイント 34

《3》 サイト紹介 -子どもの本をリサーチする-

《4》 行って来ました!

【3】全国のイベント紹介

【4】プレゼント

■ 【1】お知らせ ■

● 夏休み大特集 子どもの本に見る科学の不思議! 展

子どもの本に見る「科学」をテーマにした展示、イベントを開催します。大人の方には懐かしさを感じてもらい、子どもには科学への興味がわく内容です。「夏休み自由研究ブックリスト」もプレゼントします。

《展 示》

期 間：平成 25 年 7 月 20 日（土）～8 月 4 日（日） ※ 水曜は休館
午前 10 時～午後 5 時（入館 4 時 30 分まで）

会 場：EXPO' 70 パビリオン 1 階ホワイエ（吹田市 万博記念公園内）

入場料： 無料（別途、自然文化園の入園料が必要）

内 容：・明治時代から現代までの科学の本

- ・大正 14 年から現在まで出版されている「子供の科学」（誠文堂新光社）、「学習」とセットで販売されていた「科学」（学習研究社）などの雑誌

- ・大阪万博にちなんで「ロボット」「宇宙」「のりもの」などのテーマの本や絵本 など

《イベント》 すべて参加無料、会場は 同館 1 階多目的室

◇ おはなし会「びっくり はっけん かがくのふしぎ」

日 時：7 月 20 日（土） ①11 時～ ②13 時～ ③15 時～

出 演：おはなしポップ （当日参加自由）

◇ 吹き矢をとばそう！-ぐんぐんのびる力の科学

日 時：7 月 28 日（日） ①13 時～、②14 時 30 分～

講 師：西村寿雄さん（科学読物研究会、仮説実験授業研究会）

対 象：小学生 定員：各回 30 人（事前申し込み先着順）

◇「宇宙」短歌をみんなでつくろう！

日 時：8月3日（土） 14時～14時45分

講 師：高田ほのかさん（リビングカルチャー倶楽部講師）

対 象：小学生 定員：30人（事前申し込み先着順）

主 催：大阪国際児童文学振興財団

後 援：大阪府立中央図書館、一般社団法人 関西環境開発センター

助 成：独立行政法人 日本万国博覧会記念機構

お申し込み、詳細は ↓↓

http://www.iiclo.or.jp/03_event/02_lecture/index.html

● 研究紀要の原稿募集

当財団では「大阪国際児童文学振興財団 研究紀要」第27号の原稿を募集しています。お申し込み、詳細は ↓↓

http://www.iiclo.or.jp/06_res-pub/04_journal/boshu.html

● 寄付金を募集しています

当財団の運営を応援いただける個人、法人の皆さまからのご寄付を募っています。寄付金は、当財団が行う講座・講演会など、さまざまな事業経費に充てさせていただきます。ぜひ、ご協力いただきますようお願いします。

お申し込み、詳細は → <http://www.iiclo.or.jp/donation.html>

【2】コラム

《1》 Y O ! この本読んだ? Yasuko's & Okiko's Talk

『チャーメインと魔法の家』 ハウルの動く城 3 ダイアナ・ウィン・ジョーンズ/作 市田泉/訳 徳間書店 2013年5月 対象年齢：小学校高学年以上

あらすじ：本ばかり読んで家の仕事をほとんどしたことがないチャーメインは、遠縁で王様付きの魔法使いであるウィリアム大おじさんがエルフに病気を治してもらっている間、家の留守番をすることになる。魔法の本を読んで魔力をつけたところに魔法使いの見習いになりたいピーターがやってきて、二人は昔に隠された黄金の謎と、今お城でお金が消えている謎を解くことになる。

Y：ダイアナ・ウィン・ジョーンズらしい楽しさ満載のエンターテインメント作品でした。

O：まず、主人公チャーメインがユニークでした。洗濯や料理などの身近な能力は全くないけれど、魔法に関してはたいへん有能というギャップがおもしろかったです。

Y：本ばかり読んで、魔法でごはんを出して食べるという生活はうらやましく思いました。そんなチャーメインがいろいろな人に出会って心配なことが出てくると、本を読んでも楽しくないと思うところに説得力がありました。

O：チャーメインの他にも大勢の人物が登場し、ドタバタ、ゴチャゴチャし

ているのに、ちゃんとプロットはあって、だんだんおもしろくなってくるのが、ふしぎというか・・・

Y：プロットという意味では、いくつかの謎解きが用意されています。昔隠された黄金のありか、大おじさんの病気、お城からお金が消えていく謎、王の跡継ぎの正体、ピーターがなぜ、魔法で失敗ばかりするのか（出生の秘密）、犬の宿なしの正体、キラキラの正体（読者にはハウルとすぐわかるように書かれています）などです。

O：そうそう、「ハウルの動く城」3巻として、1、2巻を読んでいる読者へのサービスたっぷりの作品になっていますね。おなじみのキャラクターの登場のさせ方にひねりが効いていて笑わせてくれました。特に「ハウル」と動く城の出し方がなんともユーモラスでした。

Y：ダイアナ・ウィン・ジョーンズの作品では、ドアをへだてて異なる時間や空間とつながっている屋敷が多く登場し、この作品でも、*House of Many Ways*というタイトルどおり、魔法の家が登場します。

O：原題では、家が主人公ともいえますね。「魔法」を手玉にとって、次々と新しい作品を繰り出したウィン・ジョーンズは2011年に亡くなっているので、もう新作が読めません。さびしい限りです。

《2》 読書活動ボランティアのためのワンポイント 34

その6 絵本の読み方（9）『どろんこハリー』を読む：ハリー、芸当をする

家族にわかってもらえなかったハリーが「自分らしさ」を証明するために行ったことは、知っている芸当をすべてやってみるということでした。この部分（第9、10見開き）は起承転結の「転」に当たる部分ですが、他の見開きとは異なる画面構成になっています。つまり、1つの見開きに、ハリーが複数描かれており、同じ画面に異なる時間の出来事が描かれているのです。これによって、他のページより時間の流れが速くなり、ハリーがわかってもらおうと芸当を次々やっている様子が想像できます。

そこで、読み方も、リズムカルに読む必要があります。そして、見ている人たちが、ハリーの芸当を順に追っていけるように配慮しながら、読んでいきます。ここでは、「びよん」「すつとん」「ころり」と擬態語が使われており、これらの音を響かせて丁寧に読むことで、ハリーにとっては一所懸命で、家族にとっては、あ然とすることで、読者にとってはユーモラスに聞こえるという状況が楽しめます。個人的に読むときには、蝶がハリーを応援しているようであったり、虫が珍しそうに眺めて歩き去って行ったり、花が芸当の舞台背景として描かれていたりする絵の細かい部分も楽しめます。

第9見開きでは、右を向いてダンス、左を向いて歌を歌っていますが、ダンスをしながら視線は家族の方を向いており、歌をうたっているまなざしが、祈るようにも見えます。この文では助詞の「も」がハリー的一所懸命さを表現しています。

第10見開きで、再度逆立ちに戻ったことで、「なんどもなんどもやってみせた」という言葉にしんぴよう性が出て、9、10見開きの絵が循環している様子を想像することができます。ところが、ここでの結論は、ハリーじゃない

ということでした。大切なのは、「ハリーじゃないよ」という言葉です。この絵の父親、娘は心残りがある様子ですが、母親と息子は、きぜんとした態度で家の中に入っていきます。ですので、みんなが言ったという「ハリーじゃない」というせりふは、あまりきっぱりすぎても、疑い充分という感じでも絵と呼応しません。認めてもらえなかったという事実をハリーに告げるという読み方がぴったりくるように思われます。

* 次号は「その6 絵本の読み方 (10) 『どろんこハリー』を読む：ハリー、浴槽に入る」の予定です。質問や意見をいただきましたら、お答えしていきたいと思います。(Y)

《3》 サイト紹介 ー子どもの本をリサーチするー

一次資料データベース篇 14 回目。ご紹介するのは以下のサイトです。

●東京都立図書館 江戸東京デジタルミュージアム

http://www.library.metro.tokyo.jp/Portals/0/edo/tokyo_library/index.html

100 年以上の歴史を有し、貴重な資料を多く所蔵する東京都立図書館。その特別文庫のなかから、江戸・東京の歴史や文化を手軽に楽しめるものを選び、デジタルミュージアムとして発信しているのがこのサイトです。

江戸の文化といえば、何とんでも庶民の文化。歌舞伎や大相撲が花開き、子どもには寺子屋が普及した時代です。「江戸の学問」というページでは、浮世絵で高名な歌川国貞の筆による寺子屋の様子(画題「稚六芸の内、書数」)が描かれています。「稚六芸(おさなりくげい)」とは子どもの学習教科6種を、「書数」とは手習いと算盤を意味します。

寺子屋で、子どもたちは座ったり寝そべったり。奔放に思い思いの姿で勉強しており、実にほほえましいものがあります。他の寺子屋の画には、女性の師匠も描かれています。

ユニークなのは、「折り紙」や「影絵」、「智慧の板」(図形パズル)や「判じ絵」(絵を使ったなぞなぞ)です。江戸のゲームというべきもので、庶民に親しまれ児童文化の歴史においても無視できないものです。1枚の紙から、2羽~100羽の鶴をつなげて作る連鶴の作り方は見事。私たちも見本を印刷して折ってみることができます。また、影絵の仕掛けをみて思わずにやり。

遊び心をくすぐりつつ、当時の文化や楽しみに触れることができるのが楽しい。江戸の庶民文化の世界へ、足を踏み入れてみませんか。(J)

※次号は、一次資料データベース篇〈その15〉の予定です。

《4》 行って来ました!

兵庫県立歴史博物館で開催されている開館30周年記念特別展「かわいい! 女子ワールド 松本かつちと少女文化の源流」に行ってきました。展示は全体が2部で構成されています。

第1部は、松本かつぢの少女画につながる少女文化の源流についての展示です。子ども向けの本が初めて出された明治の頃は、＜少女＞は＜少年＞の中に含まれていたようで、明治期の雑誌「少年世界」には、「少女欄」があったと紹介されていました。

そして、明治から昭和の初期に出された「少女世界」「少女の友」「ひまわり」などの雑誌や付録、絵はがきや便箋などが展示され、中原淳一や落谷虹児、加藤まさなどを、それぞれの時代に活躍した画家たちの描いた少女が紹介されています。付録の双六のなかに、少女の人生が描かれたものが複数あり、裕福な家の少女と貧乏な家の少女のどちらもゴールがお嫁入りというのが、時代を感じました。

第2部は松本かつぢの抒情画、漫画、童画のたくさんの原画が展示されています。抒情画のなかにも細かい線で緻密に描かれたもの、きれいに彩色されたものがあり、また、幼児雑誌向けの挿絵、漫画など、いろいろな画風で描き分けていることに驚きます。どの絵にも共通して、丸くて少し離れた目のやさしい表情がかつぢらしいと思いました。大人気の漫画「くるくるクルミちゃん」は、文房具や人形など、キャラクター商品も作られていて、そのにせものグッズまで展示されていておもしろかったです。(K)

【3】全国のイベント紹介

● 日本イギリス児童文学会 西日本支部講演会

「E.L. カニグズバークとヴァージニア・ハミルトンが遺した言葉
—多文化の真の意味をさぐる—」

講 師：島 式子（甲南女子大学名誉教授）

日 時：2013年7月20日（土）午後2時30分～4時45分

場 所：大阪産業創造館（大阪府中央区本町）

参加費：500円（資料代） 申込み：不要

● 公開講座「関西子どもポエムフェスティバル in 太成学院大学」

関西にゆかりのある詩人・表現者の方々から、詩作品や表現についてお話をお聞きして、詩の魅力、表現の楽しさを味わっていただきます。

日 時：2013年7月21日（日）午前10時～午後4時

場 所：太成学院大学（堺市美原区）

講 師：田島征三（絵本作家）、鹿島和夫（元小学校教諭）

高丸もと子（詩人）、のろさかん（詩人）、杉本深由起（詩人）

対 象：どなたでも。ただし、小学生以下の方は保護者同伴

参加費：無料 申込み：必要

問合せ：太成学院大学 学生サービス課

上記イベントの詳細およびその他の講座・講演会、展示会、公募情報については、こちらからご覧ください。↓↓

http://www.iiclo.or.jp/03_event/04_other/index.html

※イベント情報をお送りください。当財団HPに掲載させていただきます／

【4】プレゼント

今号のコラム《1》「YO!この本読んだ?」で紹介しました『チャーメインと魔法の家』を1名の方にプレゼントします。ご希望の方は、メールで件名「メルマガNO.34プレゼント希望」とし、(1)お名前 (2)郵便番号・住所 (3)電話番号 (4)メールアドレス、よろしければ(5)このメルマガのご感想をお書きのうえ office@iiclo.or.jp にお送りください。
締切は7月10日(水)、当選発表は発送をもって代えさせていただきます／

編 | 集 | 長 | の | つ | ぶ | や | き |

明日6月21日は、1年で昼間の時間がもっとも長い「夏至」です。明るい時間が長いとなんとなく得した気分になります。

さて、仕事を終えて外に出る。まだ陽は高い。今から何かできそう。買い物、本屋さんに立ち寄り、習い事だって…。でも足は、冷えたビールに一直線。あげく、今日も睡眠不足。それはきっと、夜が短いからだ… (A)

みなさまのご意見・ご感想をお聞かせください。下記メールアドレスまでお願いします。原則として返信はいたしませんのでご了承ください。

- このメールマガジンは、ご登録いただきました皆様に配信しています。
- 配信の登録・解除・変更は、
http://www.iiclo.or.jp/m1_magazine/index.html パソコンからどうぞ
- このメールの送信アドレスは配信専用です。
- 記事の無断転載はご遠慮ください。

発行：一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団 <http://www.iiclo.or.jp/>
〒577-0011 大阪府東大阪市荒本北1-2-1 大阪府立中央図書館内
TEL：06-6744-0581 FAX：06-6744-0582 E-mail：office@iiclo.or.jp
